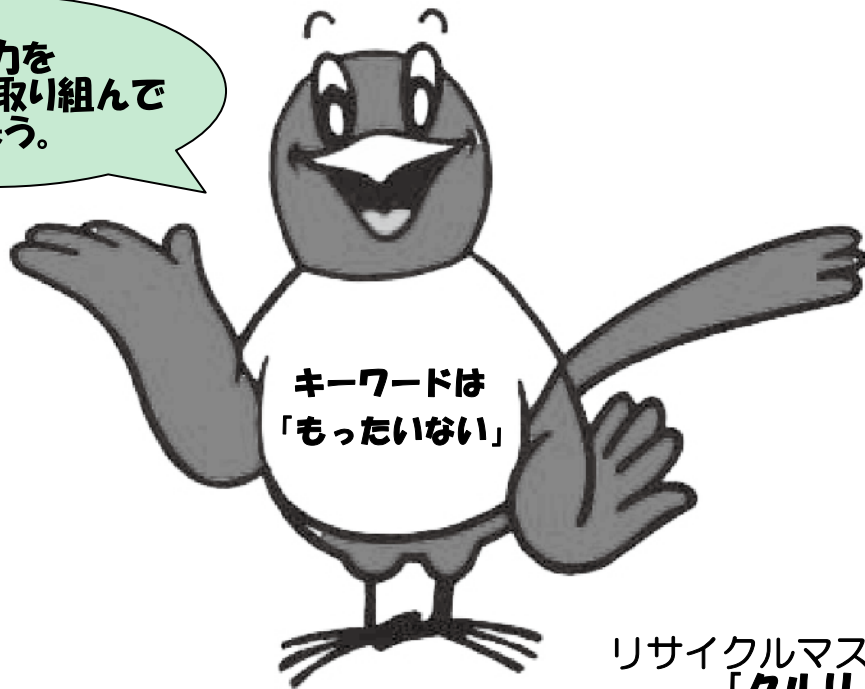


# 循環型都市八王子プラン

## — ごみゼロ社会への挑戦 —

八王子市では、10年後の将来を見据えた新しいごみ処理基本計画を策定しました。この計画は、市民や事業者の皆さんと市が一体となってごみの減量や分別の徹底を更に進めるとともに、ごみを「つぐらない」「持ち込まない」一歩進んだ取り組みを展開していくための指針となるものです。

みんなで力を  
あわせて取り組んで  
いきましょう。



リサイクルマスコット  
「クルリ」

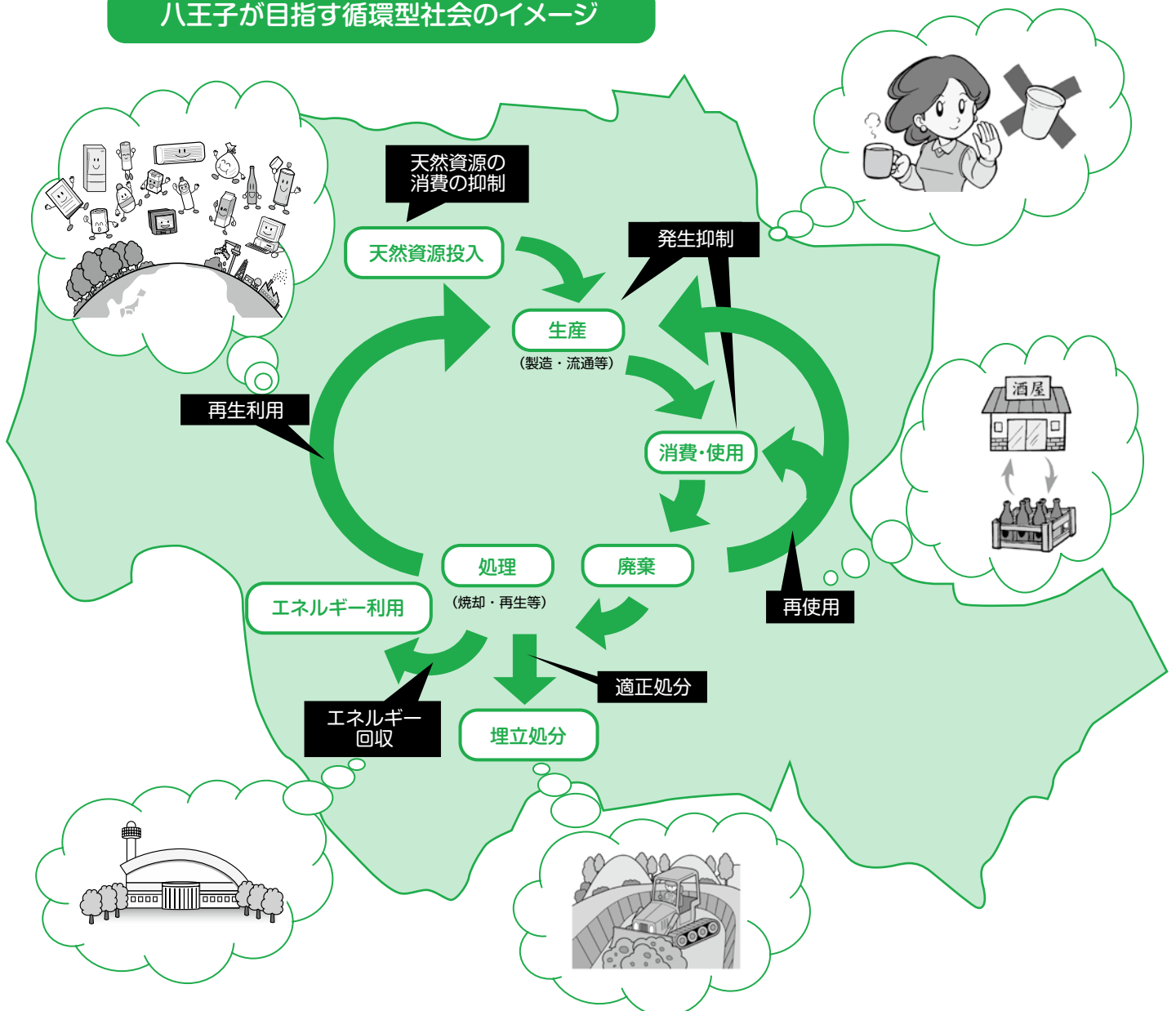
八王子市

# 循環型都市八王子を目指します

循環型都市八王子とは、今までの大量生産・大量消費型の社会から、ものを大切に使うことにより天然資源の消費を抑制させ、再使用できるものは繰り返し利用し、どうしても使えないものだけを適正に処理・処分する循環型社会に転換していくことです。

このためには、家庭ではものを大切に使う生活スタイルを実践し、事業所では環境に配慮したものづくりや販売などの取り組みが必要です。

## 八王子が目指す循環型社会のイメージ



# 計画の目標値と10年後の成果

循環型都市八王子を目指し平成28年度の目標値を定め取り組んでいきます。

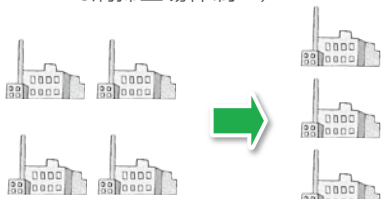
## 1 ごみ減量の目標値



## 2 10年後の成果

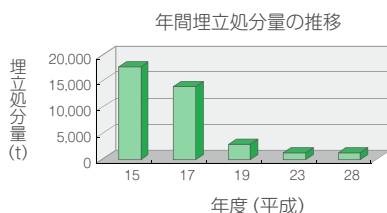
### 効率的な施設運営の実現

(ごみ減量により4清掃工場  
⇒3清掃工場体制へ)



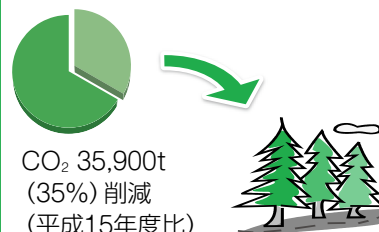
建設費約100億円の削減

### 最終処分場の長期使用への貢献



埋立処分量の大幅減少により、  
最終処分場を長期使用

### 環境負荷の低減



約256万本分の杉の  
木の吸収量に相当

# 目標に向けた10年間の取り組み

市民要望の強い取り組みに着手します。

## 1 資源物の戸別回収を実施していきます

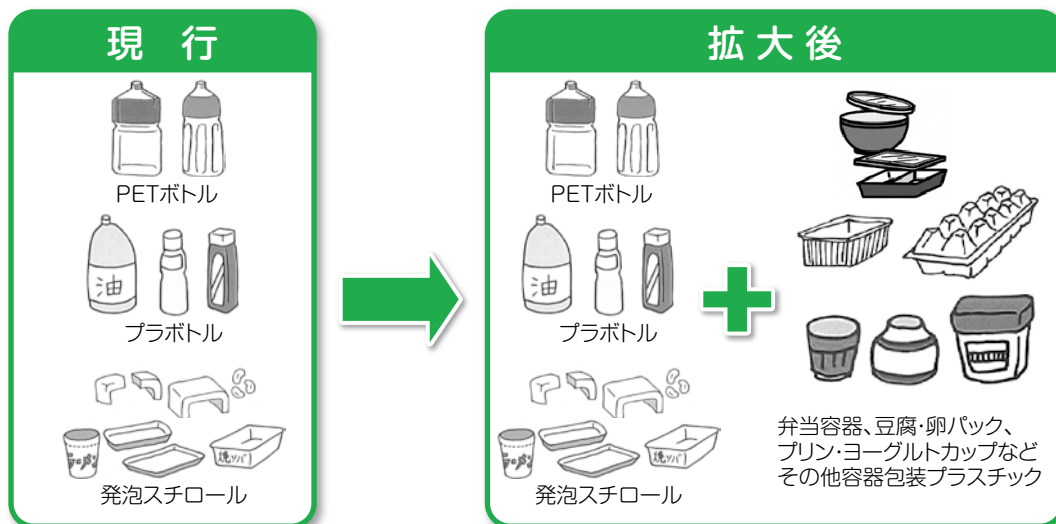
古紙をはじめとした資源物の戸別回収を実施し、分別ルールの徹底と資源化の拡大を図っていきます。



## 2 プラスチックの資源化を拡大していきます

### 1 資源化できるプラスチックの回収を拡大します

これまで不燃物として収集してきた弁当容器や豆腐・卵パックなど容器包装として用いられているプラスチックを資源として回収し、新しい製品の原材料としてリサイクルしていきます。この取り組みにより地球温暖化防止への貢献、埋立処分場の長期使用、リサイクル製品の利用拡大が実現します。



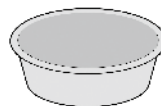
### 2 プラスチックの中間処理施設を整備していきます

市民要望の強いプラスチックの資源化を拡大していくためには、プラスチックの中間処理施設の整備が必要となります。整備に当たっては、最新の技術と環境対策により、安全・安心を確保します。これらの「情報の正確な伝達」と「市民意見の的確な反映」に努めていきます。

### 3 資源化できないプラスチックは焼却処理し、熱利用を図ります

容器包装であってもチューブ類など汚れているものやおもちゃなど容器包装として用いられていないプラスチックについては、可燃ごみとして収集し、焼却の際に発生する熱エネルギーを回収し、発電や余熱の有効利用を図っていきます。

焼却処理し熱利用を図るプラスチック例



### 3 家庭系ごみの減量のための新たな取り組みを行います

#### 1 優良集合住宅集積所認定制度の普及・拡大を行います

集合住宅におけるごみ減量や分別を徹底させるために、適切にごみの排出・分別を行っている集合住宅を認定していきます。特に高度な取り組みを行っている集合住宅を評価していく仕組みへと拡大していきます。



#### 2 粗大ごみの収集方法の改善を行います

市民の要望に応じ、簡便で迅速に対応できる収集方式（シール制\*）へ改善していきます。このことにより、収集時の立会いが不要になるなどサービスの向上につながります。



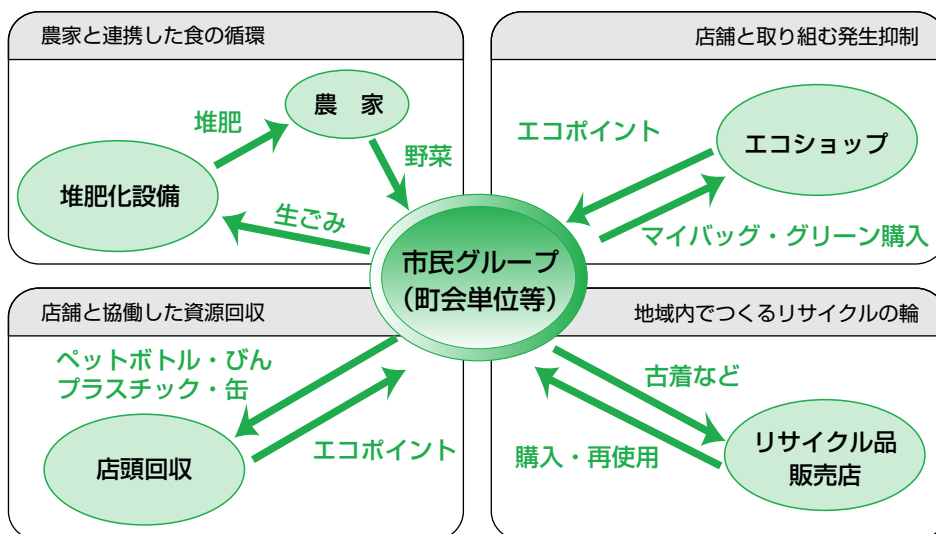
※シール制：粗大ごみについて事前に収集を申し込んだ上で品目に応じた処理券を購入し貼り付けて出す制度

#### 3 ふれあい収集の対象範囲を拡大していきます

ごみや資源物を出すことが困難な高齢者等の世帯を対象に実施しているふれあい収集の対象範囲を拡大していきます。

#### 4 ごみゼロ推進モデル事業を展開していきます

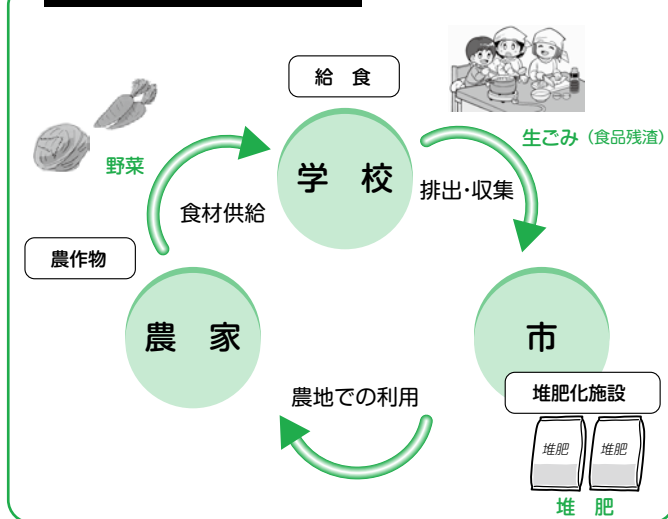
「ごみゼロ社会」の実現に向けて、先進的な事業としてごみの減量・資源化への取り組みを市民、事業者が協働して総合的に実践するという「ごみゼロ推進モデル事業」を展開していきます。



## 5 生ごみ・剪定枝の減量・資源化を進めていきます

家庭系ごみの中で大きな割合を占める生ごみや剪定枝などの減量・資源化が大きな課題となっています。そこで、食の循環を視野に入れたモデル事業の展開や新たな資源化の手法を取り入れて高度化を図りながら、大学との協働によるバイオガス化等の実証研究などに積極的に取り組んでいきます。

### 食の循環モデル事業の実施



・大学との協働による剪定枝のバイオガス化等実証研究事業への取り組み



## 6 不法投棄の取締りを強化します

不法投棄は犯罪です。地域との連携のもと毅然たる態度で対応を強化し、不法投棄を許さない社会と不法投棄をさせない環境をつくります。

### 不法投棄防止対策

#### 許さない社会

地域住民と連携した不法投棄監視体制の強化

- ・関係団体等との連携による監視体制の強化
- ・監視カメラの増設
- ・条例化も含めた抑止対策の検討

#### 環境づくり

あらゆる世代における環境教育・啓発の重視

- ・市民・事業者への情報発信
- ・啓発看板の設置



## 4 事業系ごみの減量のための新たな取り組みを行います

### 1 事業者に対する啓発・指導を強化します

事業系ごみの減量を促進するため、ごみと資源物の分別方法等を記載したガイドブックを作成し全事業者に配布します。このガイドブックに基づき事業者に対する啓発・指導を強化していきます。

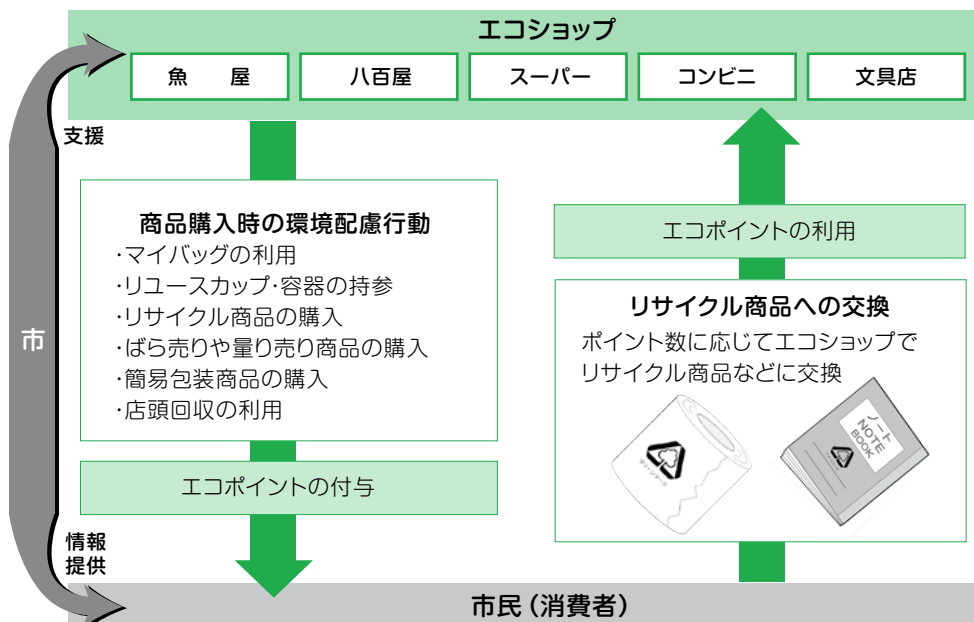
### 2 エコショップを充実します

レジ袋の削減や簡易包装等を実施し、ごみの発生抑制に積極的に取り組むお店を認定する「エコショップ」制度を充実していきます。



### 3 エコポイント制度を創設します

エコショップにおいて各店共通のエコポイントを創設し、リサイクル商品、バラ売り商品を購入した際やマイバッグを持参したときなどにポイントを付与します。また、一定のポイントが貯まれば、エコショップの各店でリサイクル商品などに交換できるシステムの導入について検討し、順次実施していきます。



### 4 優良事業者の評価制度を導入します

市民との協働により、ごみ減量や資源化に積極的に取り組む事業者の表彰など、成果を評価するシステムを構築していきます。

## 市民の皆さんに取り組んで頂きたいこと

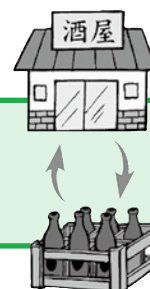
### 1 発生抑制行動 ～ごみを発生させないための取り組み～

- 買物にはマイバッグを持っていきましょう
- 環境に配慮したエコショップで買物をしましょう
- 必要なものだけ購入し大切に長く使いましょう
- 水切りなどの徹底により生ごみを減量しましょう



### 2 再利用 ～リユースの推進～

- 不用品を譲り合ったりフリーマーケットを利用しましょう
- リユース容器（再使用できる容器）を利用しましょう



### 3 再生利用 ～リサイクルの推進～

- 分別の手引きや収集カレンダーに沿った分別を徹底しましょう
- 集団回収に積極的に参加しましょう
- 店頭回収を利用しましょう



## 市民・事業者・市の協働

循環型都市八王子の実現のために、市民・事業者・市が一丸となって取り組むことが必要です。そのために市は積極的に分かりやすい情報提供を行い、地域での優れた取組みなどを発信していきます。

これらの情報を活かし、積極的なごみ減量に取り組みましょう。



八王子市環境部 環境政策課・ごみ減量対策課  
〒192-8501  
東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号  
電話 042-620-7253 FAX 042-626-4506  
問い合わせeメール  
b111200@city.hachioji.tokyo.jp  
八王子市ホームページアドレス  
<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/>

循環型都市八王子プランの本編は、市役所環境政策課・ごみ減量対策課・市政資料室・図書館・事務所・市民センターまたは市のホームページ上でご覧いただけます。